

報道関係者各位

「ナショナルコレクション」認定の 100 年前から変わらぬ庭園がここに！ “小田急 山のホテル”で「つつじ・しゃくなげフェア 2024」開催

～男爵別邸から受け継がれ「後世に残すべき植物遺産」と認定を受けた庭園の花々～

開催期間：4月下旬～5月中旬（開花状況により、開催期間が変更となる場合があります）

見学時間：9:00～16:30（最終入場）

箱根・芦ノ湖畔に建つ“[小田急 山のホテル](#)”は 4 月下旬から「[つつじ・しゃくなげフェア 2024](#)」を開催し、「後世に残すべき植物遺産」と認定を受けた 30 の古品種を含む 84 種類・約 3,000 株のツツジと、42 種類・約 300 株のシャクナゲが開花を迎える庭園をお楽しみいただけます。ここでは壮大な富士山や芦ノ湖をバックに、広大な庭園に色鮮やかなツツジが咲き誇る絢爛たる景色をご覧ください。庭園のツツジは 2022 年に「[日本植物園協会ナショナルコレクション第 10 号](#)」に認定され、昨年 3 月には、シャクナゲも「[日本植物園協会ナショナルコレクション第 15 号](#)」に認定されました。今年も、ツツジとシャクナゲがナショナルコレクションに認定されたことと、昨年、ホテルの開業 75 周年を迎えたことを記念して、庭園の歴史なども紹介するツツジ・シャクナゲの小冊子「小田急 山のホテル 庭園のツツジとシャクナゲ」を販売いたします。



富士山を背景に咲き誇るツツジ



“小田急 山のホテル”のツツジ庭園と芦ノ湖

●“小田急 山のホテル”庭園のツツジとシャクナゲについて

“小田急 山のホテル”は、三菱財閥 4 代目総帥である岩崎小彌太男爵が、1911 年（明治 44 年）に別邸を建てた由緒ある地にあります。男爵が別邸に造ったツツジ庭園とシャクナゲ園は、1948 年（昭和 23 年）に“小田急 山のホテル”がオープンした後も、現在まで受け継がれています。庭園には、他ではほとんど栽培されていない江戸時代を代表するツツジである江戸キリシマや、絶滅危惧種に選定されている日本原産のシャクナゲなどが 100 年以上経った今も現存しており、非常に貴重な品種を見ることができます。“玉仕立て”と呼ばれる、丸く刈り込まれたツツジの姿は 100 年以上前と変わらぬ情景となっています。

◆◆◆ 「つつじ・しゃくなげフェア 2024」概要 ◆◆◆

<開催期間> 4月下旬～5月中旬（ツツジの開花状況により、開催期間が変更となる場合があります。）

<見学時間> 9:00～16:30（最終入場）

<見学科料> 1,000円（ツツジ開花中のみ）※小学生以下無料

<花の見頃> ツツジ：4月下旬～5月中旬 シャクナゲ：5月上旬～下旬

<URL> https://www.hakone-hoteldeyama.jp/tsutsuji_shakunage/

※元箱根港からは、ホテル無料送迎バス有

※愛犬同伴可（ペット用カートに全身を入れてください。）ホテル本館ラウンジテラス及び別館“サロン・ド・テロザージュ”2階のみ愛犬同伴での飲食可。

◆◆◆ ツツジ、シャクナゲに関する小冊子販売情報 ◆◆◆

<タイトル> 「小田急 山のホテル 庭園のツツジとシャクナゲ」

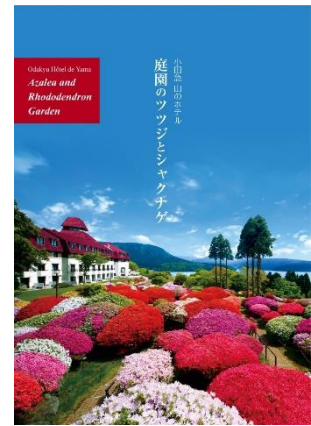
<発売日> 2024年4月上旬

<仕様> B5サイズ/32P/フルカラー

<価格> 800円（税込）

<言語> 日本語・英語併記

<内容> 2023年のホテル開業75周年、庭園のツツジ、シャクナゲが「日本植物園協会ナショナルコレクション」に認定されたことを記念して庭園の歴史やツツジ、シャクナゲに関して紹介



小冊子表紙イメージ

●庭園のツツジとシャクナゲが日本植物園協会ナショナルコレクションに認定

「ナショナルコレクション認定制度」とは、秋篠宮皇嗣殿下が総裁をお務めになる公益社団法人日本植物園協会が2017年に創設した制度で、「野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝えていく」ことを目的とした植物コレクションの認定、保全の制度です。

「小田急 山のホテル 庭園のツツジ」は、江戸時代に作出された他ではほとんど見られない30の古品種を含む84種類のツツジがあり、周囲の景観とともに次世代に残すべき価値あるコレクションとして、2022年に神奈川県内で初めて「[日本植物園協会ナショナルコレクション第10号](#)」に認定されました。そして昨年3月17日にはツツジに続いて「小田急 山のホテル 庭園のシャクナゲ」が「[日本植物園協会ナショナルコレクション第15号](#)」に認定されました。シャクナゲ園には、日本へ最初に導入された西洋シャクナゲ、ゴーマー・ウォーターの元株をはじめとして、江戸時代末期から明治時代に海外で作出された貴重な品種9種類や、環境省の絶滅危惧種に選定されている日本原産の野生種キョウマルシャクナゲやホソバシャクナゲなど、42種類約300株が保存されています。明治から大正時代に造られた日本で最初のシャクナゲ園であり、種類および庭園的価値も高いことが認定の理由となりました。



日本植物園協会ナショナルコレクション



ツツジ認定時の日本植物園協会
ナショナルコレクション認定証と認定盾

●庭園プロジェクト「男爵の100年ツツジ 100年先への挑戦」とホテル庭園でみられる貴重品種

2014年2月の大雪の日、最大1m以上の積雪によってツツジの枝が一部折れるなど、庭園は甚大な被害がありました。これまでも専任スタッフが広大な庭園の年間手入れを行っていましたが、それだけでは100年後までこの景観を維持することが難しいと考えました。そこで、2015年よりツツジ・シャクナゲの維持・再生を目的とした庭園プロジェクト「男爵の100年ツツジ 100年先への挑戦」を開始し、2015年から現在まで、9年にわたりツツジ・シャクナゲの研究者 倉重祐二氏による品種調査を行い、データ化に取り組みました。また、同氏による指導・協力を受けながら貴重な品種の増殖をし、現在植栽されている樹木のための土壌改良なども行い、100年後を視野に入れた管理を行っています。

■ツツジの貴重品種



(左)「八重げら」萼(がく)が花弁化した二重咲きで、朱赤色の花を咲かせる。庭園内で一番株の大きな八重げらの株は、高さ・直径ともに3メートル以上ある。

(右)「若鷺(わかさぎ)」咲き始めは薄紅紫色だが白色に退色する。庭園内で唯一春と秋、年2回咲く。庭園プロジェクトの一環で増殖した子株が庭園内で育っている(庭園入口付近スロープ脇)。

■シャクナゲの貴重品種



(左)「ステラ・ウォーター(和名:花競 はなぎそい)」花は中輪で紫がかったピンク。

(右)「ハロペナム(和名:酔翁 すいおう)」蕾は濃紅ピンク、咲くとごく淡いピンクに変化する。

どちらの品種も江戸末期から明治時代に海外で作出され、日本で流行し、和名がついた古品種。商業的な生産はなく、栽培も非常に少ないと思われる貴重な品種のひとつである。シャクナゲの古品種は“小田急 山のホテル”に9品種あり、ナショナルコレクション認定理由のひとつにもなった。

● 芦ノ湖畔のデザートレストランで、お皿に咲く可憐なツツジのデザートを堪能

ホテルの目の前、芦ノ湖畔にたたずむホテル直営のデザートレストラン「[プレミアムショップ&サロン・ド・テ ロザージュ](#)」では、ツツジの開花に合わせて期間限定デザート「フルリール」が登場します。フランス語で「花が咲く」という意味の「フルリール」は、その名の通り庭園に咲き誇るツツジの花をイメージして仕上げられた、季節の苺と紅茶の風味が調和した華やかなデザートです。ツツジの香りを思わせるオリジナルブレンドティーを使用したムースに、マカロンや苺のアイスクリームが添えられ、春らしい一皿として豊かな食感と華やかな香りを楽しめます。別添えの苺のソースを、ドーム状のメレンゲに流し入れてお召し上がりいただけます。

ツツジ庭園・シャクナゲ園の散策後のおすすめスポットとして、優雅なティータイムをお楽しみいただけます。

◆◆◆ 期間限定デザート概要 ◆◆◆

<期 間> 2024年4月16日(火)～5月31日(金)

<商品名> フルリール

<提 供> サロン・ド・テ ロザージュ (小田急 山のホテル直営デザートレストラン)

<料 金> 単品 1,800円 ティーセット 2,600円 (ポットサービス)

※上記は、消費税・サービス料を含んだ金額です。



フルリール



“サロン・ド・テ ロザージュ”のテラス席

● イベント情報

“小田急 山のホテル”では「つつじ・しゃくなげフェア 2024」開催中、様々なイベントを開催します。

1. 倉重祐二氏によるツツジ・シャクナゲ講演会

「庭園のツツジとシャクナゲ～後世に残すべき植物遺産 ナショナルコレクション認定～」開催

ツツジ・シャクナゲ研究者の倉重祐二氏を招き、「ナショナルコレクション」に認定された山のホテルの庭園について、ツツジやシャクナゲの奥深い魅力に触れる講演会を開催します。今年は、国枝総支配人とのトークで、庭園の歴史、プロジェクト立ち上げについても話します。

<タイトル> 庭園のツツジとシャクナゲ～後世に残すべき植物遺産 ナショナルコレクション認定～

<講 師> 倉重祐二氏 (ツツジ・シャクナゲ研究者、日本植物園協会専務理事)

<開催日時> 2024年5月7日(火) 11:00～

<開催場所> 山のホテル「金時の間」

<参加費> 無料 (定員 40名様)

<申込方法> 電話予約 小田急 山のホテル TEL : 0460-83-6321 (9:30～19:30)



倉重祐二氏（ツツジ・シャクナゲ研究者、
日本植物園協会専務理事）



講演会の様子（イメージ）

2. 「チャペルコンサートの開催」 <4年ぶりの開催>

富士山と芦ノ湖が望める箱根屈指の絶景ポイントである庭園のチャペルで、演奏会を開催します。

<開催日時①> 2024年5月11日（土）12:00～、14:00～ *各30分

<出演者> 藤枝貴子（アルパ）、松浦瑠奈（ヴァイオリン）

<開催日時②> 2024年5月12日（日）12:00～、14:00～ *各30分

<出演者> Eimy マルタン（ボーカル）、西浦由紀（ピアノ）



開催場所：“小田急 山のホテル” 内 庭園のチャペル

ご紹介いただく際の一般の方からのお問い合わせ先

小田急 山のホテル

tel : 0460-83-6321（受付時間 9:30～19:30）

HP : <https://www.hakone-hoteldeyama.jp/>

Instagram : <https://www.instagram.com/odakyuhotel.yama/>

このリリースに関するメディアの方からのお問い合わせ先

小田急 山のホテル「つつじ・しゃくなげフェア 2024」広報事務局（小田急エージェンシー内）

mail : press@odakyu-ag.co.jp

tel : 090-5530-1330（藤井）、090-2546-1123（加藤）